

報 道 各 位

新潟市環境対策課  
新潟市保健所環境衛生課

### 東区榎町地内における土壤汚染について（お知らせ）

東区榎町地内の事業場敷地で実施した土壤の自主調査の結果、有害物質であるカドミウム、水銀、セレン、鉛、砒素及びふっ素が基準値を超えて検出された旨、令和3年11月16日付けで新潟市環境対策課に届出がありました。

調査結果の概要及び対応は次のとおりです。

#### 記

#### 1 概要

- （1）調査地点：新潟市東区榎町地内
- （2）試料採取日：平成15年1月9日～1月13日
- （3）基準値超過状況

##### ○土壤溶出量

有害物質の種類	調査結果	基準値
カドミウム	0.010～0.014 mg/L	0.003 mg/L 以下
水銀	0.00075～0.0032 mg/L	0.0005 mg/L 以下
セレン	0.016～0.048 mg/L	0.01 mg/L 以下
鉛	0.011～0.12 mg/L	0.01 mg/L 以下
砒素	0.012～1.3 mg/L	0.01 mg/L 以下
ふっ素	0.81～120 mg/L	0.8 mg/L 以下

##### ○土壤含有量

有害物質の種類	調査結果	基準値
鉛	170～5600 mg/kg	150 mg/kg 以下
砒素	160～610 mg/kg	150 mg/kg 以下
ふっ素	4700～20000 mg/kg	4000 mg/kg 以下

#### 2 対応

- ・ 周辺の井戸の設置状況を確認の上、地下水調査を実施し、周辺における汚染の状況を確認します。
- ・ 周辺で地下水を飲用している方がいる場合には、飲用しないよう指導します。
- ・ 土地の所有者に対し、土壤汚染調査を含め、土壤汚染対策法に基づく適切な対応を行うよう指導します。

(参考)

- 土壌溶出量基準  
地下水等経由の摂取リスク（土壌に含まれる有害物質が地下水に溶け出して、その有害物質を含んだ地下水を飲んで口にするによるリスク）を考慮した基準。
- 土壌含有量基準  
直接摂取リスク（有害物質を含む土壌を口や肌等から直接摂取することによるリスク）を考慮した基準。
- カドミウム
  - ・健康への影響：長期または反復暴露による腎臓、肺、血液、骨、呼吸器の障害。
  - ・用途：顔料、電池、合金、メッキ等
- 水銀
  - ・健康への影響：無機水銀は、腎臓に蓄積して障害を引き起こすといわれている。
  - ・用途：体温計、血圧計、気圧計、電量計などの計器や真空ポンプ等
- セレン
  - ・健康への影響：吸入すると咽頭痛、咳、鼻汁、嗅覚損失、頭痛を生じるとされている。
  - ・用途：ガラスの着色剤や消色剤、顔料、軽金属のメッキ処理剤等
- 鉛
  - ・健康への影響：疲労、頭痛、関節痛、胃腸障害、中枢神経障害、末梢神経障害を及ぼすといわれている。
  - ・用途：鉛蓄電池、ハンダ、合金原料、電線被覆、顔料、銃弾、プラスチック安定化剤等。
- 砒素
  - ・健康への影響：皮膚炎、末梢神経障害、腎障害を及ぼすといわれている。また、発ガン性のある物質といわれている。
  - ・用途：トランジスタ、半導体、ガラス、顔料、木材の防腐剤等。
- ふっ素
  - ・健康への影響：高濃度のふっ素を含む水の摂取によって斑状菌が発生するほか、ふっ素沈着症が生じる。
  - ・用途：金属の研磨やステンレスの洗浄等。

本件についてのお問い合わせ先

【土壌汚染について】

新潟市環境対策課水環境グループ 担当：岡村  
(直通) 025-226-1371

【飲用井戸関係について】

新潟市保健所環境衛生課環境衛生係 担当：内藤  
(直通) 025-212-8266